

さて、私も冤罪なれど死刑囚

袴田 巖

# 夢の問の答の件

ドキュメンタリー映画  
2016年 119分

撮影 池田俊巳  
音楽 谷川賢作  
プロデューサー 陣内直行  
製作・配給 Kimoon Film



ゆめのまのよのなか  
監督 金 聖雄

袴田 巖

## 多摩地域 巡回上映ツアー!

すべて金聖雄監督の舞台挨拶あり

**武蔵野市** 9 / 17 (土) 開場 13 時 45 分  
上映 14 時~

武蔵野スイングホール (JR 武蔵境駅北口 1 分)

**小金井市** 9 / 24 (土) 開場 18 時 45 分  
上映 19 時~

小金井宮地楽器ホール小ホール (JR 武蔵小金井駅南口正面)

**清瀬市** 9 / 25 (日) 開場 13 時 45 分  
上映 14 時~

生涯学習センター・アミューホール (清瀬駅 1 分)

**多摩市** 9 / 30 (金) 開場 18 時 45 分  
上映 19 時~

パルテノン多摩 小ホール (多摩センター駅 5 分)

**立川市** 10 / 15 (土) 開場 18 時 45 分  
上映 19 時~

立川市女性総合センター (アイム) ホール (JR 立川駅北口 5 分)

**八王子市** 10 / 29 (土) 開場 18 時 45 分  
上映 19 時~

八王子市生涯学習センター・クリエイトホール (JR 八王子駅北口 5 分)

**調布市** 11 / 11 (金) 開場 13 時 45 分  
上映 14 時~

調布市文化会館たづくり8F 映像シアター (京王 調布駅 広場口 4 分)

**西東京市** 11 / 12 (土) 開場 18 時 45 分  
上映 19 時~

保谷こもれびホール (西武バス「保谷庁舎前」下車すぐ)

**小平市** 11 / 19 (土) 開場 18 時 45 分  
上映 19 時~

小平市福祉会館 大ホール (西武多摩湖線青梅街道駅 5 分)

共通前売券 絶賛発売中!

金監督作品「SAYAMA みえない手錠をはずすまで」(毎日映画コンクールドキュメンタリー賞受賞作)

10月14日(金) くにたち市民芸術小ホール (JR 国立駅南口バス乗場: 4 番から 10 分)

開場 18時15分 上映 18時30分 トーク予定 石川一雄さん 早智子さん 金聖雄監督

(※共通前売 使用可)

私が長い獄中生活で学ばざるを得なかった「自由」というものは、このような痛烈な無念さとして一種の眩しさをもって自らに私はあらためて自らに質問しつづけている。お前は罪のない身でありながら、いつになったら自由を取り戻せるのか。

(獄中日記より)

### 袴田事件とは

1966年6月30日未明、静岡県の味噌会社で専務一家4人が殺され、放火された事件。犯人にでっち上げられた元ボクサーの袴田巖さんは、裁判で一貫して無実を訴えたが1980年に死刑が確定。その後再審を求め闘い続けようやく2014年3月27日、静岡地裁で再審開始が決定された。「証拠はねつ造」「これ以上の拘留は正義に反する」と48年ぶりに釈放。しかし検察庁が即時抗告したため、袴田さんは今も死刑囚のままである。

失われた時を求めても、そこには虚しさがあるばかりだが、それでも私たちは失われた時の意味を問わねばならない。

(映画監督 周防正行)

## 巖のあるがままの姿を見て欲しい。(姉 袴田秀子)

「証拠はねつ造の疑いがある」

「これ以上の拘置は耐え難いほど正義に反する」

2014年3月27日。冤罪でありながら死刑囚として、48年間という途方もない時間を獄中で過ごした袴田巖さんの再審が決定し、即日釈放された。私たちは、その後の生活にカメラを向けた。

「袴田事件は終わった。冤罪もない。死刑制度も廃止した。俺は死刑囚じゃないんだ」

事件のことを語る巖さんは、未だに“妄想”という自分の世界から抜け出すことができない。しかし、釈放直後の表情がなかった頃と比べると、“平凡な日常”が巖さんの気持ちを解きほぐしているようだ。

ある日突然始まった将棋三昧の日々。私も、何度となく挑戦したが、なんと73戦全敗。その度に、勝ち誇ったように、ニヤッと笑顔をみせる。また、親戚の赤ちゃんを抱いた好々爺の表情は温かい。ボクシングの話題になれば半世紀前の記憶がよみがえり、試合の論評もする。

巖さんの“妄想の世界”を、日常という“現実の世界”がゆっくりと包み込んでいく。

死の恐怖から逃れようと必死で生き抜いてきた巖さんは、今も私たちが想像できない深い闇を抱えている。しかし“平凡な日常”の積み重ねが光となって、その闇を照らしはじめてるように思う。

「巖のあるがままの姿を見て欲しい」と、姉の秀子さんは笑顔で語る。

この映画で何か明確な答えがでたわけではない。しかしスクリーンに映し出される巖さんの存在が、生きることの尊さを、静かに問いかけているような気がしてならない。

監督 **金聖雄**

映画、テレビ番組、PR映像など幅広く手がける映像作家。「花はんめ」「空想劇場」などのドキュメンタリー映画を製作。2013年の「SAYAMA みえない手錠をはずすまで」は、キネマ旬報文化映画第3位、毎日映画コンクールドキュメンタリー映画賞受賞。1963年大阪生まれ、在日2世。

# 袴田 巖 夢の問の糸

題字：袴田巖 監督：金聖雄 撮影：池田俊己、横山友昭、佐藤充、山内泰 現場録音：池田泰明、高木西一  
録音：吉田茂一 編集：金聖雄、野村太 カラリスト：山田健太郎 助監督：野沢拓臣  
音楽：谷川賢作(パーカッション&ピアノ)、牧原正洋(トランペット&フリューゲルホーン) 録音エンジニア：ichiro  
技術協力：菊池純一 制作デスク：坂井えつ子、若宮正子 上映デスク：沢口絹枝 スチール：村田次郎  
印刷物：松井一恵(制作)、加藤さよ子(デザイン) プロデューサー：陣内直行 製作協力：映像グループ 翔の会、協映  
製作・配給：Kimoon Film

入場料

共通前売券 1300円 (5枚以上1枚 1000円)

当日一般 1500円 学生・障害者 1000円 高校生以下 500円

問い合わせ先

キムーンフィルム

小金井市東町 4-8-13 小出ハイツ 201 TEL 042-316-5567 FAX 042-316-5882

info@hakamada-movie.com

hakamada-movie.com

Kimoon Film